

さいたま市立大宮北中学校

学校だより 9月号

令和6年9月2日(月)



048 (641) 1214

048 (641) 6680 (さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

『人間性豊かな 実践力のある生徒』

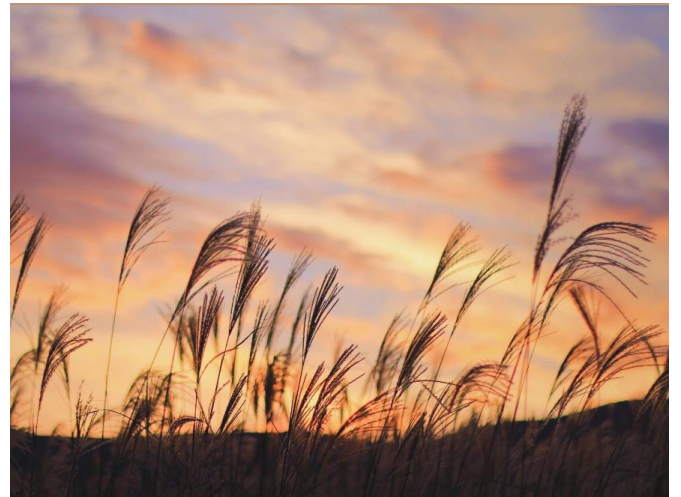
- ◆ たしかな学力
- ◆ ゆたかな心情
- ◆ たくましい身体

充実の秋

校長 小林 正美

39日間の夏休みも終わり、今日からいよいよ1年で最も長い学期、2学期が始まります。始業式では、皆さんの元気な顔を見て、大変うれしく思いました。今年の夏休み、生徒の皆さんは有意義な夏休みを過ごすことができたでしょうか。この夏休み中に、同好会活動等では、サッカー部、女子剣道部、男子ソフトテニス部、陸上部、硬式テニスが、県大会への出場を果たしてくれました。どの部も大健闘をし、素晴らしい試合をしてくれました。吹奏楽部は地区の吹奏楽コンクールにて、感動的な演奏を披露してくれました。この他どの部も、真夏の暑さの中、互いに声を掛け合い熱心に練習に励んでいました。今後のますますの活躍を、期待しています。

さて、2学期と言えば、季節は秋ということになります。校庭の樹々の梢の揺れを見て、よく耳を澄ますと、ある短歌を思い出しました。それは、私が中学生の時に国語の授業で学んだものです。



「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる」(藤原敏行「古今和歌集」)
四季の移り変わりがはっきりしているのは日本の特色の一つで自然の恵みでもあります。スポーツの秋、読書の秋とも言われたりするように、2学期は一年中で一番さわやかな気候に恵まれ、勉強やスポーツに打ち込む絶好の季節です。大宮北中生の皆さんには、何事も自分が主体的に計画を立てて、ひたすら実践し努力し、様々な試練の後に大きな喜びを味わってほしいと思います。2学期も、文化祭、合唱祭、新人体育大会、市駅伝競走大会、寿能台レースなど授業の合間に大きな行事が予定されています。1年生はすっかり学校生活に慣れた本物の大宮北中生として、2年生は学校活動の中心として、3年生は様々な場面でこれまでの経験を生かし下級生にアドバイスを与える先輩として、それぞれこれからの全ての活動に全力で取り組み、充実した2学期にしてほしいと願っています。

ところで、9月1日は「防災の日」です。1923年9月1日に関東大震災が、1995年1月17日には阪神・淡路大震災が、そして、2011年の3月11日に東日本大震災、2023年1月1日に能登半島地震が発生し、私たちは、改めて災害の恐ろしさ、被害の重大さ、失ったものの尊さを実感しました。「災害は、忘れたところにやってくる」と言われますが、私たちの生活圏でも、またいつ、未曾有の災害が起きるか分かりません。自然災害の恐ろしさを再認識し日頃より身を守るための予防的措置を講じておくとともに自らの危機予知能力を高め、「自分の命は、自分で守る」ことを念頭に、適切かつ迅速に行動できるようにしたいものです。